

製品名: アンドロゲン受容体マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80815**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	Androgen receptor
別名	NR3C4; KD; AIS; SMAX1; HUMARA; AR
遺伝子 ID	367.0
SwissProt ID	P10275
免疫原	大腸菌で発現したヒト AR の精製された組み換え断片。

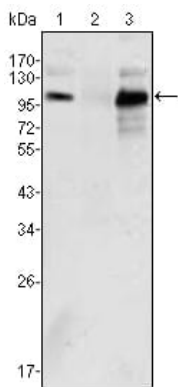
背景

アンドロゲン受容体 (AR) は、NR3C4 (核内受容体サブファミリー 3、グループ C、メンバー 4) としても知られ、細胞質内で男性ホルモンであるテストステロンまたはジヒドロテストステロンのいずれかが結合することで活性化され、その後核内に移行します。

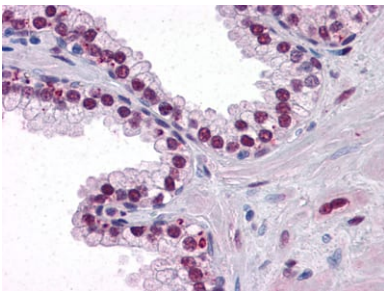
アンドロゲン受容体はプロゲステロン受容体と最も密接に関連しており、高用量のプロゲステンはアンドロゲン受容体を阻害する可能性があります。アンドロゲン受容体の主な機能は、遺伝子発現を制御する DNA 結合転写因子としての機能ですが、アンドロゲン受容体には他にも機能があります。アンドロゲンによって制御される遺伝子は、男性の性的表現型の発達と維持に不可欠です。

研究分野

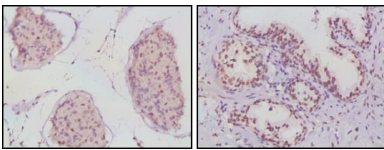
画像データ



K562 (1)、Jurkat (2)、および LNCaP (3) 細胞溶解物に対するアンドロゲン受容体マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



アンドロゲン受容体マウス mAb を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺組織の免疫組織化学分析



アンドロゲン受容体マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト精巣 (左) および前立腺癌 (右) 組織の免疫組織化学分析。